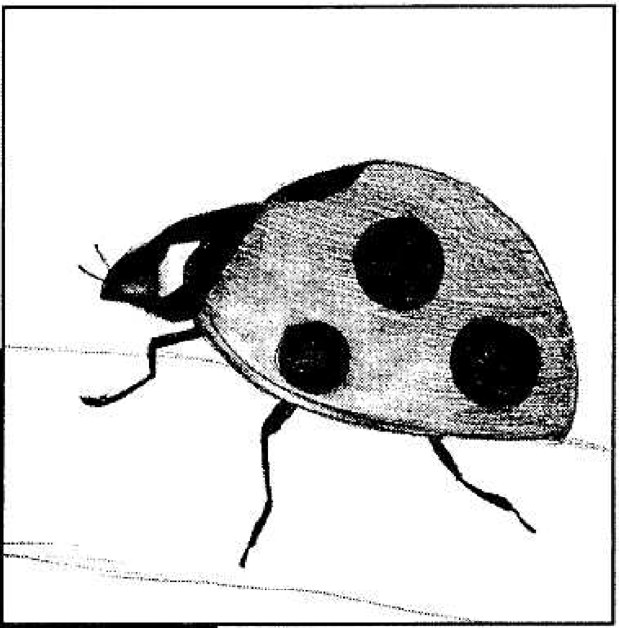
翔

百万石蝶談会　No.166



February 2004

2003年石川県のアサギマダラマーキング概要

松 井 正 人

2003年の全国のアサギマダラは大当たりで、近年では希に見られる程多かったと聞いている。マーキングも年を追う毎に盛んになるようで、マーキング数の総計は、2002年の37,000頭（日本鱗翅、2003）を大きく上回る事が予想される。また、再捕獲数は1,000件（大島、2003）を越え、2002年の約250件（日本鱗翅、2003)、更にはマーキングが始まってから2002年までの全再捕獲合計の約900件と比較しても、全国各地でマーキングが盛んになっていることがうなづける。

一方、石川県内で観察されたアサギマダラの数は、例年より少なく、特に輪島市鉢伏山では例年の１割程度しか観察できなかったため、県内のマーキング数は伸びず、例年の４割程度に止まった。しかし、石川県関係の再捕獲件数は、全国各地のマーキングの盛り上がりに支えられ、例年とほぼ同数であった。

■月別場所別マーキング数

石川県内で観察されたアサギマダラは、例年多数観察される７月に少なかった。鉢伏山では、2000年には1,413頭、2001年には893頭（日本鱗翅、2002)、そして2002年には905頭（日本鱗翅、2003）にマーキングされているが、2003年の観察数は極わずかで、マーキング数も下表の通り36頭に止まった。

2003年のマーキング数

	６月	７月	８月	９月	計
輪島市舳倉島		1			1
輪島市宝立山	1		13	38	52
輪島市鉢伏山		36	177		213
押水町宝達山			7	424	431
尾口村一里野			13		13
加賀市刈安山				6	6
計	1	37	210	468	716

■マーキング会

金沢市から近く、広くて安全なマーキングフィールドを持つ宝達山では、何度かマーキング会が開催されたが、普及啓蒙を目的としたものは、２回開かれた。

１．昆虫館マーキング会

開催日時：9月13日10時～12時、対象：昆虫館友の会会員、主催：石川県ふれあい昆虫館

当日は、台風14号が能登沖を通過し、フェーン現象で気温が高く、大風が吹き荒れ

る中、11人が参加して28頭にマーキングを行った。

2．学校マーキング会

開催日時：9月17日8時半～11時、対象：宝達小学校3～6年生、主催：宝達小学校

天候も良くてアサギマダラの数も多く、絶好のマーキング日和。本年度中で最も良い日とマーキング会とが重なった。網を振るのが初めてのような子供達だったが、78人が130頭にマーキングを行った。また、滋賀県で放蝶された１頭が、再捕獲された。

■再捕獲記録

2003年は、県外で放蝶され石川県内で再捕獲されたものが２頭、石川県で放蝶され県外で再捕獲されたものが９頭記録された。県外で放蝶されたものの再捕獲は、滋賀県と岐阜県のもので、この時期の渡りコースとは考えにくく、おそらくは数日前に能登沖を通過した台風の影響かと考えられる。

石川県で放蝶されたものは、これまで３通りの渡りルート上で再捕獲されているが、2003年は、この内の２通りのルート上で再捕獲された。

第１のルートは、更に北に向かい、どこかの時点で南下に転じるルートで、８月放蝶の再捕獲記録が、これにあたる。これまでに最も北上したものに、山形市蔵王山の記録（日本鱗翅、2003）がある。

第２のルートは、まず日本列島を横断して太平洋岸に至り、その後は海岸線沿いに南下するルートで、９月放蝶の再捕獲記録が、これにあたる。

今回再捕獲が無かった第３のルートは、南下するものの直接太平洋岸へは出ず、瀬戸内を経由するコースで、これまでに広島県で再捕獲された１頭（日本鱗翅、2002）が知られている。

1．県内再捕獲

標　　識：ＸＸ１５９ＢＶ	標　　識：Ｍ．Ｉ　２５　8/30　ＨＩＷ
個体情報：♂　前翅長50㎜	個体情報：♂　前翅長56㎜
標 識 地：滋賀県大津市びわ湖バレイ	標 識 地：岐阜県高根村日和田高原
標識日時：2003年８月２日　14：30	標識日時：2003年８月30日
標 識 者：金田　忍	標 識 者：犬嶋　満
↓	↓
再捕獲地：石川県押水町宝達山630ｍ	再捕獲地：石川県押水町宝達山630ｍ
再捕獲日：2003年９月17日　9:50	再捕獲日：2003年９月17日　14:20
再捕獲者：宝達小学校６年生 上本秀太	再捕獲者：松井　正人
備　　考：「ほうだつ」を追記し再放蝶	備　　考：「ほうだつ」を追記し再放蝶

２．県外再捕獲

標　　識：石ひよし　０４８
個体情報：♂　全翅長58mm　新鮮
標 識 地：石川県輪島市鉢伏山
標識日時：2003年８月２日　8：27
標 識 者：日吉　芳朗
↓
再捕獲地：群馬県赤城村赤城自然園
再捕獲日：2003年９月28日　12：38
再捕獲者：田中　重昭
備　　考：「AP902」を追記し再放蝶

標　　識：石ひよし　１６５
個体情報：♂　前翅長56mm　新鮮
標 識 地：石川県輪島市宝立山440m
標 識 日：2003年８月７日　9：43
標識者：　日吉　芳朗
↓
再捕獲地：鹿児島県喜界町滝川林道
（喜界島）
再捕獲日：2003年11月１日　9：12
再捕獲者：福島　誠

標　　識：石ひよし　２１１
個体情報：♀　前翅長58mm　新鮮
標 識 地：石川県輪島市鉢伏山500m
標 識 日：2003年８月13日　7：25
標 識 者：日吉　芳朗
↓
再捕獲地：鹿児島県西之表市安城平園
（種子島）
再捕獲日：2003年11月8日　13：22
再捕獲者：奥村　学

標　　識：石ひよし　２４５
個体情報：♂　前翅長57mm　新鮮
標 識 地：石川県輪島市宝立山440m
標識日時：2003年９月14日　14：39
標 識 者：日吉　芳朗
↓
再捕獲地：愛知県幡豆郡幡豆町三ヶ根山
再捕獲日：2003年10月４日
再捕獲者：丹羽　力
備　　考：「10.4 にわ」を追記し再放蝶

標　　識：03. 09. 15 宝だつ 圭佑
個体情報：不明
標 識 地：石川県押水町宝達山630m
標識日時：2003年9月15日
標 識 者：山前　圭佑
↓
再捕獲地：三重県南牟婁郡御浜町横垣峠
再捕獲日：2003年10月10日
再捕獲者：児嶋　毅
備　　考：「KJM345」を追記し再放蝶

標　　識：ＩＭＭ　１３０　ほうだつ
個体情報：♂　前翅長60mm　新鮮
標 識 地：石川県押水町宝達山630m
標 識 日：2003年９月17日 12:52
標 識 者：松井　正人
↓
再捕獲地：鹿児島県喜界町滝川林道
（喜界島）
再捕獲日：2003年11月１日 9:30
再捕獲者：福島　誠

標　　識：ＩＭＭ １５７ ほうだつ
個体情報：♂　前翅長54mm　新鮮
標 識 地：石川県押水町宝達山630m
標 識 日：2003年９月17日 13:58
標 識 者：松井　正人
↓
再捕獲地：和歌山県西牟婁郡串本町潮岬
再捕獲日：2003年11月７日
再捕獲者：児嶋　毅
備　　考：「KJM 2277」を追記し再放蝶

標　　識：ＩＭＭ １５８ ほうだつ
個体情報：♂　前翅長50mm　やや古い
標 識 地：石川県押水町宝達山630m
標識日時：2003年９月17日　14：00
標 識 者：松井　正人
↓
再捕獲地：愛知県知多郡南知多町山海
再捕獲日：2003年10月20日　10：30
再捕獲者：榊原　君江
備　　考：「BR 2080」を追記し再放蝶

標　　識：ＩＭＭ １７１ ほうだつ
個体情報：♂　前翅長54mm　新鮮
標 識 地：石川県押水町宝達山630m
標識日時：2003年9月17日 14:28
標 識 者：松井　正人
↓
再捕獲地：和歌山県日高郡日高町西山
再捕獲日：2003年10月10日
再捕獲者：藤井　恒
備　　考：「PEN 再 10/10 西山」を
追記し再放蝶。

喜界島で再捕獲された「ＩＭＭ１３０」
【撮影 ： 福島　誠】

■標識者と標識

2003年の石川県内では、県内外の大勢の方々によってマーキングが行われたため、マーキングが盛んな宝達山には記録表を置き、可能な限り標識者と標識の記録に努めた。

標識には、日付、場所、通し番号、標識者の略称などが使われていたが、ここでは、日付、場所、通し番号などは省略し、以下に標識者氏名と（ ）内に略記標識として示した。

井野口 侑紀（友の会 ゆうき)、三上　秀彦（友の会 三上)、山前　圭佑（圭佑)、山前　安揮（友の会 さだてる)、山前 圭司（友の会 けいじ)、山前 地史（友の会 くにと)、山前 奈緒美（友の会 山前)、山前 美智子（友の会 美智子)、蔵 久美子（友の会 くら)、蔵 富士夫（友の会 蔵)、樋口　陽平（友の会 ひぐち)、小木　翼（つばさ)、蔵岡　嵩之（たかゆき)、坂本　拓也（たくや)、砂田　祐一（ゆういち)、藤本　惇芳（あつよし)、

山崎　健太（けんた)、赤池 涼香（すずか)、近江ひかり（ひかり)、武田沙紀（さき)、田辺　真子（まこ)、林　佑香（ゆか)、平畠　実季（みき)、松田　夏海（なつみ)、宮本　恵有（えり)、村井　美優（みゆ)、柳橋　美希（やみき)、山崎　明蘭（あきら)、塚本　奈緒子（ツカモト)、井上　大規（ひろき)、岡部　寛大（かんだい)、岡本和也（かずや)、上川　雅史（かみかわ)、川崎恵一朗（けい一ろう)、畑　大樹（たいき)、松田　隼輝（じゅんき)、松田　将嗣（まさし)、山田　遼（りょう)、山本　快武（よしたけ)、大路　閑（シズカ)、上森　美鈴（みすず)、柴田　愛（あい)、高崎　彩香（あやか)、高崎　理花（りか)、長田美也子（ミヤコ)、村井　梨華子（りか子)、山崎　絵蘭（えらん)、山本　桃子（ももこ)、赤池　康明（やすあき)、岡部　功大（こうだい)、田中　悠史（はるふみ)、野崎　達海（たつみ)、林　宏亮（こうすけ)、林　裕也（ゆうや)、平畠　紳也（しんや)、松田　賢太郎（けんたろう)、松田　武尊（たける)、村上　慶太（けいた)、山崎　陽介（ようすけ)、山田　政樹（まさき)、赤池　幸穂（さちほ)、上杉　智子（うえすぎ)、越野　葵（アオイ)、武田　能理（のり)、松榮　美希（まつえ)、湯上　春奈（はるな)、上本　秀太（しゅうた)、小木　和希（かずき)、小木　純也（じゅんや）小倉　茂樹（しげき)、越野　太地（だいち)、高森　翔太（しょうた)、田中　亘（ひろし)、畑　光樹（みつき)、林　英揮（ひでき)、山口　裕輔（ゆうすけ)、岩本　真衣（まい)、越野　美紀（こしの)、竹田　有沙（ありさ)、谷光　春奈（たにみつ)、田村　朋子（ともこ)、広正　里奈（りな)、宮本　育実（なるみ)、村井　千晶（ちあき)、金田　忍（ＸＸ)、佐藤 英治（ＥＳ石川)、長谷川 政興（ＭＨ)、藤井　恒（Ｐ)、館農　望（サトメ たちの)、橘 英子（Ｅｉｋｏ)、新田　亮介（サトメ にった)、端谷　豊治（石へぐら)、日吉　芳朗（石ひよし)、松井　正人（ＩＭＭ)、矢田　新平（石ＳＹ)、吉長　高嶺（たかね)

■謝　辞

宝達山でのマーキング会でお世話になった岡部 佐武郎氏・宝達小学校校長の法花堂 良一氏並びに先生方、常日頃よりご支援いただき、お世話になっている日吉ご夫妻・押水町「山の龍宮城」の橘 英子氏・石川県ふれあい昆虫館の三上 秀彦氏の方々はじめ、マーキングでお世話になった大勢の方々に、心よりお礼申し上げる。

《 参考文献 》

日本鱗翅学会アサギマダラプロジェクト(2002)アサギマダラ年鑑2001. 74pp.

日本鱗翅学会アサギマダラプロジェクト(2003)アサギマダラ年鑑2002. 92pp.

大島新一郎（2003）2003年アサギマダラの移動情報抜粋. アサギマダラ情報（245）:3-23.

《まつい まさと 〒920-3121 金沢市大場町東871-15》

石川県宝立山の蝶リスト

日 吉 芳 朗

標高469mの宝立山は、輪島市と珠洲市の境界に位置するブナ林のよく発達した山で、これまでに多くの蝶が観察されている。2003年には、新たに３種を追加し観察数は57種となった。スジボソヤマキチョウは、当初から追い求めてきた蝶の一つで、ようやく５年目にして１頭を目撃することができた。

■2003年の追加観察種

ミヤマカラスアゲハ	2003年9月13日	輪島市宝立山	1♀	日吉芳朗
スジボソヤマキチョウ	2003年9月12日	輪島市宝立山	1♂目撃	日吉芳朗
キタテハ	2003年9月23日	輪島市宝立山	1♀	日吉芳朗

■宝立山の蝶リスト

◎セセリチョウ科８種

ミヤマセセリ、ダイミョウセセリ、アオバセセリ、ホソバセセリ、キマダラセセリ、コチャバネセセリ、オオチャバネセセリ、イチモンジセセリ

◎アゲハチョウ科６種

キアゲハ、アゲハ、クロアゲハ、モンキアゲハ、カラスアゲハ、ミヤマカラスアゲハ

◎シロチョウ科５種

キチョウ、モンキチョウ、スジグロシロチョウ、エゾスジグロシロチョウ、スジボソヤマキチョウ

◎シジミチョウ科12種

アカシジミ、ミズイロオナガシジミ、オオミドリシジミ、エゾミドリシジミ、ジョウザンミドリシジミ、トラフシジミ、ベニシジミ、ゴイシシジミ、ヤマトシジミ、ルリシジミ、ツバメシジミ、ウラギンシジミ

◎テングチョウ科１種

テングチョウ

◎マダラチョウ科１種

アサギマダラ

◎タテハチョウ科17種

ウラギンスジヒョウモン、オオウラギンスジヒョウモン、ミドリヒョウモン、クモガタヒョウモン、メスグロヒョウモン、ウラギンヒョウモン、ツマグロヒョウモン、イチモンジチョウ、コミスジ、サカハチチョウ、キタテハ、ルリタテハ、ヒオドシチョウ、ヒメアカタテハ、アカタテハ、スミナガシ、コムラサキ

◎ジャノメチョウ科７種

ヒメウラナミジャノメ、ジャノメチョウ、クロヒカゲ、ヒカゲチョウ、オオヒカゲ、ヤマキマダラヒカゲ、ヒメジャノメ

《ひよし よしろう 〒928-0001 輪島市河井町1部64-1》

輪島市と鳳至郡柳田村のスジボソヤマキチョウ

日 吉 芳 朗・日 吉 南 賀 子

石川県輪島市の蝶について記した古い文献（浅見行一・的場和雄、1952）によると、スジボソヤマキチョウは３月から７月にかけてと10月に高洲山、気勝山、輪島町、河原田村、大屋村（いずれも現在の輪島市）で記録されたとある。解説には、その詳細は記されていないものの、この記述より当時は希であったとは考えづらい。一方、筆者の一人日吉芳朗は、1954年と1965年に採集して以来、この蝶を目撃することさえなかった。

1954年10月3日　輪島市久手川大平　1♂採集　日吉芳朗
1965年7月28日　輪島市高洲山頂上　2♂採集　日吉芳朗

また、1970年代から今日まで輪島市で採集活動を続けておられる石畑正夫、天野勝広の両氏も、輪島市では１頭も目撃したことはないとのことであった。これらのことから、筆者らは、輪島市のスジボソヤマキチョウが、いなくなってしまったのではないかと考えていた。

そうした中で、2001年10月15日に嵯峨井淳郎氏から「テレビで、廃校となる柳田村立合鹿小学校が放映され、運動場わきの花壇の花に、１頭のスジボソヤマキチョウが吸蜜していた。」と、連絡をいただき、筆者らは２度同地を訪れたところ、採集はできなかったが１頭を目撃することができた。

2001年10月19日　鳳至郡柳田村合鹿小学校　１頭目撃　日吉芳朗

2002年に入ると、３月13日に三上秀彦氏が柳田村上町と久田で、目撃されたという朗報（三上秀彦，2002）が入り、筆者らも、合鹿小学校の裏手にある林道で破損が激しい１♀を採集することができ、金山においても１頭を目撃した。

2002年４月14日　鳳至郡柳田村合鹿　１♀採集　日吉芳朗
2002年４月14日　鳳至郡柳田村金山　１頭目撃　日吉芳朗

そうした中で、4月20日に松井正人氏が、卵や幼虫によるスジボソヤマキチョウの調査を目的として柳田村へおいでになられた。筆者らも同行し、この14日に１♀を採集した林道へ案内したところ、周辺でクロウメモドキ３本を見付けられるとともに、３卵を見出された（松井正人、2003)。筆者らも３卵を得たが、羽化には至らなかった。金山地内も調査したが、クロウメモドキをみつけることはできなかった。

次に、氏と筆者らの最大の目的でもある輪島市のスジボソヤマキチョウを捜そうと、輪島市西山町へ調査に入った。氏は、猿鬼橋がかかる渓流ぞいにクロウメモドキ２本を見つけられ、幼虫３頭を採集された（松井正人、2003)。以後、筆者らは４度に渡り、この地

をたずねて幼虫５頭を得、６月４日から７日にかけて２♂２♀が羽化した。輪島市で、今なおスジボソヤマキチョウが生息していることが確認されたのは、1965年以来、実に37年ぶりのことであった。

９月に入り、合鹿の状況が気になり３度訪れたところ、旧合鹿小学校そばの民家の庭に咲く花で、多数のスジボソヤマキチョウが吸蜜している光景に目を見張った。奥能登において、これだけまとまった数を一箇所で見たのはもちろん初めてであった。しかし、春に３卵を採集した林道周辺のクロウメモドキ周辺では、１頭も目撃できなかった。

2002年9月27日　鳳至郡柳田村合鹿　８♂１♀採集５頭目撃　日吉南賀子・日吉芳朗

《 参考文献 》

浅見行一・的場和雄（1952）石川県旧鳳至郡の蝶類について：5-6．輪島高等学校．

松井正人（2003）輪島市と柳田村でスジボソヤマキチョウを観察．翔（160）：9．

三上秀彦（2002）柳田村でスジボソヤマキチョウを目撃．翔（156）：1．

《ひよし よしろう・ながこ　〒928－0001　輪島市河井町1部64－1》

石川県輪島市でスジボソヤマキチョウを採集

石　畑　正　夫

今まで、輪島には「スジボソヤマキチョウはいない」との先入観から調査していなかったが、最近「もしかしたら」と思うようになり、その候補地として輪島市三井与呂見～鳳至郡柳田村当目兜地の道路付近を考えていたが、2003年は調査の機会も無くシーズンが過ぎてしまった。

ところが、10月８日に、輪島市三井与呂見～鳳至郡能都町大田原の境界付近でスジボソヤマキチョウを発見し採集することができた。

2003年10月８日　　輪島市三井与呂見　　１♀採集　　石畑正夫

当日は、うすら寒い日で、午前11時過ぎに同所を通りかかったところ、キチョウらしいものが飛んでいるのを発見した。「もしかしたら」と思って車を止め、そこに生えていたワラビの葉で払い落としてみると、間違いなくスジボソヤマキチョウの♀であった。幸い破損もしていなかったので、標本にして保存している。

《いしはた まさお 〒928-0001 輪島市河井町１部17-1》

クロスジフユエダシャクの交尾を観察

小　幡　英　典

2002年12月１日、好天に恵まれた石川郡吉野谷村の林道笠山線で、フユシャクがお花畑を舞う蝶の風情で、冬枯れの中を飛び交っていました。

メスを見つけるチャンスとみて、粘っていると運良く、交尾シーンを観察できました。地面に枝を差したような20cm程度の幼木？の根際で、２頭のオスが羽ばたいているのを発見。すぐにもう１頭が加わりましたが、その内の１頭と交尾が成立すると他の2頭は、何ごとも無かったように居なくなってしまいました。交尾した２頭は、オスが風であおられた時に位置を補正する程度で、当方がどんなに覗き込んでも逃げる気配はありませんでした。メスのフェロモンにオスが誘引されるとして、交尾が成立した瞬間に、フェロモンの効果を無くしてしまう仕組みが不思議です。

種名を教えていただいた富沢 章氏にお礼申し上げます。

《 おばた ひでのり 〒921-8044 金沢市米泉10-39-2 厚生年金宿舎105号 》

蝶数種の遅い観察例

嵯 峨 井 淳 郎

2003年は、暖冬だったようで、金沢の初雪は12月７日と平年より10日遅かった。そのせいか、観察に通っている鶴来町八幡では、ノコンギクやノアザミなど秋の草花で吸蜜するツマグロヒョウモンなど数種の蝶が、比較的遅くまで観察できたので、遅い時期の観察記録として報告する。

2003年12月25日	石川郡鶴来町八幡	モンキチョウ	３♂目撃	嵯峨井淳郎
2003年12月25日	石川郡鶴来町八幡	スジボソヤマキチョウ	１♂目撃	嵯峨井淳郎
2003年12月15日	石川郡鶴来町八幡	ベニシジミ	１頭目撃	嵯峨井淳郎
2003年12月15日	石川郡鶴来町八幡	ヒメアカタテハ	４頭目撃	嵯峨井淳郎
2003年12月17日	石川郡鶴来町八幡	ツマグロヒョウモン	１♂目撃	嵯峨井淳郎

《さがい じゅんろう 〒921-8145 金沢市額谷3-18-2》

２００３年度収支報告

会計年度は１月１日から12月31日

収入		支出	
項目	金額（円）	項目	金額（円）
２００３年度会費	106,000	会誌作成費	91,600
当該年度以外会費	52,000	例会費	16,000
会誌売上金	113,100	自然史系団体協議会会費	3,000
郵送負担金	22,000	郵送費	29,520
前年度繰越金	69,236	消耗品費	1,108
寄付金	3,000	次年度繰越金	224,108
計	365,336	計	365,336

※ 年会費は2,000円、郵送負担金は500円

注１）会誌売上金が伸びたのは、昆虫文献六本脚の委託販売が、買い取りに切り替えられ、これまでの残部が全て買い取られたため。

注２）郵送費が縮小したのは、宅配メール便の運賃改定によるもの（100ｇ以内110円）。

標本箱の共同購入二〇〇三

歳を重ねるとともに採集活動が鈍ってきたようで、各自の標本作成数も一時期から見れば軒並みダウンしている。そんな中にあって、S氏やH氏、K氏などはしっかり標本を作っているようで、今回の購入数は四十箱となった。

舳倉島で鳴くセミは何種か

知られているのはツクツクボウシだけだが、ハルゼミやニイニイゼミらしい声を聞いたとの情報がある。虫屋が度々出かけるのも大変なので、分校の子供達が協力してくれると助かるのだが。

金沢よりも近いかも

今話題の能登空港、あの手この手の助成制度を使って利用客集めに努めているが、約一時間のフライトで羽田に着く。輪島金沢間は約二時間だが、輪島から空港まで三〇分とすると、羽田には金沢より三〇分も早く着くことになる。

ツマグロヒョウモンの終見日

毎日が日曜のSおじさん、ツマグロがいつまで観察できるか調査を進めている。一度降った雪も消え、再び飛び出し、終見日が伸びている。

今度は一人で行くらしい

毎日が日曜のHおじさん、沖縄の魅力にとりつかれたようで、前回からまだ二月程しか経たないのに、近々出かける様子。しかも、これまでは誰かと連れだっていたのに、今度は一人で行く予定とか。

トゲナナはいつまで観察できる

昨年初めて初冬に観察されたトゲナナフシ、いったいいつまで観察できるのか、何でも興味ありの浅地氏が調べている。今年になっても観察でき、記録はドンドン伸びている。

モルフォテックスって知ってる

モルフォの羽は七色に輝く構造色、いつまで経っても色あせしない。この発色原理を糸に応用したのがモルフォテックスで、ポリエステルとナイロンの積層構造が光干渉を生み出し発色する。帝人が誇るナノテクノロジーの成果。

フィールド環境は最高だが

今年は、思いっきり暖冬のようで、一月なのに雪が無い。それどころか、良い天気が続き、フィールド環境は最高だ。野外で活動しようと思えば、いつでも可能だが、思うだけで体が動かない。

表紙が新しくなった

今年の表紙は、受験勉強で忙しい最中に描いてもらった坂原 圭さんの作品。圭さんって誰かって、翔一一七号をご覧いただきたい。十年越しの会員である。

生物多様性動物分布調査報告書

この報告書は、日本全土の分布の様子を、全国から寄せられたデータを元に十キロメッシュのマップで表したものだが、セミ・水性半翅類の報告書は一月十五日に届いた。一九九八年にデータを収集していたので、ずいぶんと時間がかかっている。石川県からは、四人が参加し、三〇六データが使われている。

例会の記録

十二月十一日（木）城南管工一階にて八時から開催。

今回は、「ジョウカイボンの分類近況と金大角間キャンパスのジョウカイボン」について高田君がパワーポイントを使い、熱く語ってくれた。

その他の話題は、これが四国の珍品だ、シロモンクロは油がすごい、翅の金粉は飛ぶと落ちる、タカバクロヒラタはミゾソバを狙え、ポイントはエビネの根本、などなど。

持ち寄り標本は、「八重山と四国の蝶」、羽化仕立ての金粉が載ったスジアカクマゼミ、富山のエダナナフシ。

参加は、高田、松井、中西、井村、久慈、細沼、山岸の七人。

【表紙デザイン：小幡英典】
【表紙イラスト：坂原 圭】

會員の動き・しゃばの動き

HP「金沢の昆虫」が変身

蝶談会HPの管理者北川氏は、「金沢の昆虫」も開設していたが、十一月から「昆虫スタジオ@金沢」と変身させ、嵯峨井氏の専用ページ「野草散策」もオープンさせた。

http://jaco.ec.t.kanazawa-u.ac.jp/insectlib/

アサギマダラの遅い記録

日吉氏、十一月十八日に輪島でアサギマダラを採集。県内でもたまに見つかる第三化の個体かと思われ、最も遅いものは、十一月二十五日に小松市で観察されている。

ホテルのパンフにアサギの紹介

毎年新年会を開いている「ホテルイン金沢」の紹介パンフ、この中の「石川再発見」欄にアサギマダラのマーキングが紹介された。隔月刊のこのパンフ、発行部数も多く、マーキングの知名度も更に上がる事間違いなし。

冬にハルゼミが鳴いた

十二月五日、辰口町丘陵公園で幼虫が発見され、持ち帰ると、その日の内に羽化して鳴きだした。十年ほど前にも、十一月に羽化仕立てのアブラゼミが見付かったことがあり、たまに季節はずれの羽化が有るようだ。

ジャコウアゲハの異常型かな

久しぶりに飼育したジャコウアゲハ、羽化すると裏面の斑紋がちょっと変わっている。異常型かと思って調べていると、バタフライ三十七号に異常型が掲載され、比べると全くまともだった。

アサギ再捕獲、千データを越す

二〇〇三年は、再捕獲ラッシュに沸いた。二〇〇二年の再捕獲数が約二五〇件、マーキングが始められてから二〇〇二年までの全再捕獲数が約九〇〇件なのに、二〇〇三年は単年で千件を越した。これは、すごい数字で、アサギの移動実体が分かる日も近い。

山中の一軒家で隠居生活か

東山の国道沿いに「虫のいどころ」なる開かずのお店を構えていた井澤のいっちゃん、森本の山中に一軒家を購入。やかましい街中に辟易し、自然豊かな場所で、隠居暮らしでもするのだろうか。

虫眼鏡を頼って幼虫探し

雨だと言うのに輪島を目指した松井・細沼の2氏、目的は言わずと知れたクロコムラサキ。幼虫採集に雨は関係ないと、雨具を着込んでいていたが、虫眼鏡を使っていては、なかなか見付からない。

翔 166号

Tobu 2004年2月10日発行

百万石蝶談会

http://member.nifty.ne.jp/hakusan/

金沢市大場町東871-15 松井方

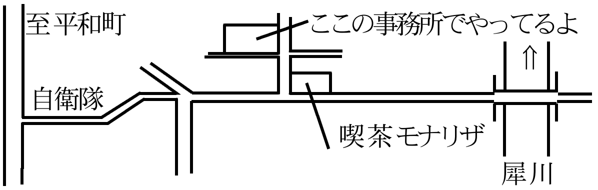
〒920-3121 ☎076-258-2727

郵便振替 00750-8-562

印刷 小西紙店印刷所

例会は偶数月・5月・7月の第1木曜日8時から

TEL参加もOKです（076-244-3318）



目　次（166号）

松井正人：2003年石川県のアサギマダラマーキング概要　……………… 1

日吉芳朗：石川県宝立山の蝶リスト　…………………………………… 6

日吉芳朗・日吉南賀子：輪島市と鳳至郡柳田村のスジボソヤマキチョウ 7

石畑正夫：石川県輪島市でスジボソヤマキチョウを採集　………… 8

小幡英典：クロスジフユエダシャクの交尾を観察　………………… 9

嵯峨井淳郎：蝶数種の遅い観察例　……………………………………10

編 集 部：会員の動き・しゃばの動き　………………………………12